



大森六中だより

令和3年 3月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

1年間の振り返り



洗足池の梅の花が散り始めるとともに、コケモモの花が満開となりました。季節は確実に春を迎えようとしています。しかし、人間社会では、寒々しい光景が連日報道されています。紛争や戦争で傷付く多くの人、罪のない民間人です。特に力の無い子供たちにとっては、なすすべがありません。権力を持つ為政者には、何故そうした想像ができないのでしょうか。現在進行形の争いごとが一刻も早く止むことを心から祈ります。

年度末を迎え、1年間の振り返り時期となりました。生徒は3月5日(土)に学習成果発表会を開催し、学習の成果を振り返りました。まず、各学年の総合的な学習の時間のまとめを、学級委員がプレゼン資料にまとめ、発表しました。主に環境教育、平和教育、防災教育の観点から調べ学習や体験活動をとおして視野を広げ、実践的な態度を身に着けていることが伺えました。また、各展示物は、生徒の力作が多く飾られていました。特に、手書きのイラストに目を惹かれるとともに、学習の感想を読むと、生徒の成長が伺えます。

こうした学習の振り返りの効用は、身に付いた知識や技能を確認し、今後の学習の見通しが立てられるとともに、学習の意味を再確認することができます。そして、学習したことによる充実感や達成感を味わうことができます。特に下級生は上級生の作品を見て、次年度の学習の参考になったことと思います。

一方、学校運営の振り返りも重要です。保護者の皆様にご協力いただいたアンケート、及び生徒・教職員対象のアンケートの集計結果を踏まえ、自己評価を行い、その上で学校関係者の方々の評価を加えて「令和3年度大森第六中学校自己評価報告書」を作成しました。この報告書は学校ホームページでどなたにもご覧いただくことができます。保護者の皆様、並びに学校関係者の皆様には改めてご協力に感謝申し上げます。

3月18日(金)には卒業式を挙行いたします。卒業生が本校で学んだ経験を活かし、身に着けた知識・技能をさらに伸ばして、持続可能な社会づくりの担い手として活躍されることを期待しています。

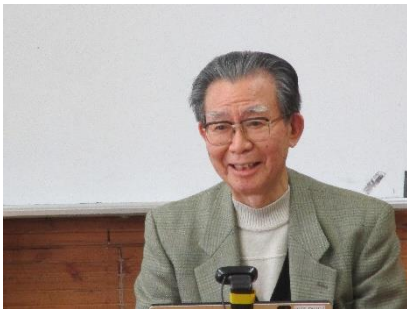
持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

卒業記念講演会

安彦忠彦先生をお招きして

令和3年度卒業記念講演会に名古屋大学名誉教授安彦忠彦先生をお招きしました。各教室へは



リモートではありましたが、三年生代表の学級委員を前に、約50分間お話しいただきました。

「SDGsの達成に向けた学校教育」に取り組んでいることを評価いただき、具体的な学習内容を取り上げ、生徒の言葉を拾い丁寧なコメントをいただきました。

「環境学習について（食品ロス問題）」「平和学習（被爆者の声に聴く）」「防災学習（東日本大震災の地への修学旅行）」について言及され、さらに、「反差別の学習」では、差別意識は、3歳前後から小学校3、4年前後までに身についたものが根付くため、その後反差別の自覚を持って、容易には無くせない、その後理性的に正そうとしても容易ではないため、その矛盾に苦しむことになるそうです。

本校を卒業して、「義務教育」を修了したことの意味は、「地球人として最低の共通教養」を身につけたことです。社会人として大切なことは「能力・学力」の高さではなく、「社会的信用」という資質・道徳性である。もちろん、両方が高ければ最も優れた人物になります。SDGsを3年間で学び続けたことで、地球的な課題を解決す



るための知恵と活動と倫理性を身につけた卒業生が、社会で活躍することを期待している、と、結び、エールを送っていただきました。

SDGs 伝承プロジェクト

5日（土）に行われた学習成果発表会では、総合的な学習の時間の発表と作品展の展示見学が行われました。また、3年ぶりに3年生による「SDGs 伝承プロジェクト」を行い、3年生の3年間の学びを1、2年生に伝える時間をとることができました。

昨年度から準備はしていたものの、受験期を経て人がなかなかそろわず、心配でしたが、さすが3年生です。

前日のリハーサルで1回通してプレゼンしたことで火がつき、改善に改善を重ね、よりよいものを1、2年生に聴かせたいという気持ちがひしひしと伝わり、本番は心地よい緊張感の中で、行われました。



SDGs 1番から17番までの「日本の現状」「世界の現状」「達成された後の未来」「他の目標との関連」について、自分たちの考えをまとめ訴えました。クイズあり、劇ありで下級生の心を引きつけようと必死さが伝わり、下級生も食い入るように聴いていました。

そして最後に、今年度の卒業生が考えたSDGs 20番は「個性を認め合える社会に」に決定し、発表しました。平和な社会を築くのはこの担い手達であると、強く感じました。

20 個性を認め合える社会に



1年生 南房総遠足

3月2日、移動教室の代替行事としてマザー牧場へ遠足に行きました。オリエンテーリングでは班で菜の花畑を眺めながら広大な敷地を歩き回り、自由時間には動物を眺めたり餌をあげることができました。移動教室は中止となりましたが、遠足を通して思い出が作れました。



3年生 卒業遠足

3月8日、よみうりランドに卒業遠足へ行きました。それぞれの班がアトラクションに乗ったり、散歩したり、食事をしたりと、仲良く楽しい思い出をつくることができました。例年とは異なる場所での実施となりましたが、たくさんの生徒たちの笑顔を見ることができました。



学習成果発表会

3月5日、学習成果発表会が実施されました。各学年の総合発表がリモートで行われ、その後教科や1年間の行事のまとめなど、展示作品を見学してまわりました。3年生は「SDGs 伝承プロジェクト」として、1・2年生の教室に足を運び、SDGsの内容についてわかりやすく、かつ楽しいプレゼンを行いました。



三年生を送る会

3月11日、生徒会手作りの看板を背景に三年生を送る会が開催されました。1、2年生からは歌とメッセージを映像で届けたほか、先生の思い出エピソードを2年生が再現映像として作成しました。3年生からは歌と新たに考えたSDGs20番「個性を認め合える社会に」の発表をしました。生徒会企画として3年担当の先生からのメッセージと入学式から今日までのスライドショーを見て3年間の成長を振り返りました。

